

美唄市

びばい し

## Press Release (行事・催し物)

件 名	2025農業科推進事業シンポジウム	
実 施 日	令和7年12月6日(土)	
タイムスケ ジュール <small>(詳細に記載願います)</small>	日 時	内 容
	10時00分～12時30分	別紙開催要領のとおり
場 所	美唄市民会館2階大会議室	
主(共)催	美唄市、美唄市教育委員会	
開催の趣旨	別紙開催要領のとおり	
内 容	別紙開催要領のとおり	
参 加 対 象	どなたでも参加可能	
参 加 人 数	約100名	
備 考	児童を特定できる写真につきましては、掲載をお控えください ますよう、ご理解の程よろしくお願ひいたします。	
担 当 課	学務課 学校教育係 担当:新田 電話 0126-62-3130 (内線 2715)	

## 2025 農業科推進事業シンポジウム開催要領

### ～農業体験学習を通じて地域から学ぶ食農教育～

市では、地域にある環境や地域の文化資源などを活用して、子どもたちに豊かな体験を積んでもらう農業体験学習「農業科推進事業」を実施しています。

この事業は、「地域に根ざし、暮らしに学ぶ」を基本とし、農業の実体験を重視した「食農教育」を通じて、子どもたちの「豊かな心」「主体性」「社会性」を育むことのほか、美唄市の基幹産業である農業を通じて、しっかりと生きる力を育み、食の大切さについて学んでもらうことを目的に進めています。

シンポジウムでは、子どもたちの農業体験の感想発表や事例紹介、また、子どもたちの手で収穫したお米を使った試食の提供を行います。

1 日 時 令和7年12月6日（土）10:00～12:30

2 会 場 美唄市民会館2階大会議室

3 主 催 美唄市、美唄市教育委員会

4 協 力 北海道美唄尚栄高等学校

5 参 集 100名程度（ただし、小学3年生以下は、保護者の同伴をお願いします。）

6 参加料 無料

7 内 容 9:30～ 受付開始

10:00～ 開会・主催者あいさつ

10:00～10:50 「薬膳で簡単セルフケア」

食べ物、植物のちからで未病を防ぎ

元気な毎日を過ごしましょう！

萬谷 利久子氏（国際薬膳師、6次産業化地域プランナー）

10:50～11:00 休憩

11:00～11:20 美唄尚栄高等学校食製クラブの活動発表

11:25～12:15 食農体験の発表（中央小・東小から各2事例）

12:15～12:30 試食（子どもたちが収穫したお米を使用）

※当日はお持ち帰りを予定しています。

パネル展示（農業体験の様子、各学校からの展示物など）

販売コーナー（美唄尚栄高等学校の加工食品）ほか

来場者アンケート調査、閉会

8 参加申込み 参加を希望される方は、下記の方法により、お申込みください。

○市内小中学校の保護者、児童、生徒の方は、11月27日（木）までに別紙申込書を各学校へ提出してください。

○上記以外の方は、12月3日（水）までに下記2次元コードまたは別紙申込書にて美唄市教育委員会学務課へお申込みください。（持参でも可）



参加申込用2次元コード

2次元コードを携帯電話で読み取り、必要事項を入力の上申込ください。

【問合せ先：美唄市教育委員会学務課 電話：0126-62-3130 FAX：0126-62-1088】

2025 農業科推進事業  
シンポジウム 参加申込書

住所又は所属	氏名	備考

(注) 小中学校の保護者、児童及び生徒の方は、学校に提出してください。

教職員についても、本申込書により教育委員会学務課に提出してください。